令和３年第１回定例会 施政方針（要旨）

令和３年第１回市議会定例会の開催に当たりまして、議員各位におかれましては、ご多用の中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また平素から、市政の発展、市民福祉の向上にご尽力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

はじめに、現在、猛威を振るっております、新型コロナウイルス感染症に関しまして、議員の皆様をはじめ、市民の皆様には、１年近くの長期間に渡り、感染症の拡大防止にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

また、医療や介護の現場で日々奮闘されている従事者の皆様や、市民生活の維持のために日々働いている全ての皆様に、深く敬意を表する次第でございます。

中国の湖北省武漢で、最初に新型コロナウイルスの感染者が確認されたとされる日から、およそ１年と２カ月あまりが経ちましたが、世界では１億人を超える人が感染し、死者数は２４０万人を超えたとのことでございます。

日本国内におきましては、現在、第３波を迎え、これまでとは比べ物にならないほどに感染が拡大し、先月１月７日に千葉県を含む１都３県に二度目となる緊急事態宣言が発出され、２月２日には千葉県を含む１０都府県の緊急事態宣言が、３月７日まで延長されることとなりました。

市内におきましては、１１月頃から三度（みたび）感染者が増えはじめ、１２月には４９名、１月には実に１６８名の感染が確認され、更に、２月に入り、市内の二つの病院においてクラスターが発生するなど深刻な状況となっております。

現在、千葉県を含む全国の感染者数は、皆様方の不要不急の外出の自粛等によりまして、減少傾向にありますが、重症者数は依然として多く、高齢者でも入院ができず、自宅療養中や入院先を探している間に亡くなるケースが発生するなど、医療のひっ迫した状況が続いております。

このような中、市では、１月１８日から２月５日までの間、６５歳以上の高齢者等への無料のＰＣＲ検査の受付を行いました。

約２万５千人の対象者のうち、およそ５４パーセントにあたる皆様から申請があり、市民の皆様が、現在の状況を深刻に受け止め、少しでも安心を得たいという思いが伝わる結果となりました。

また、詳細なスケジュール等不透明な点はありますが、国は、先日１４日に新型コロナウイルスに対応した、アメリカ・ファイザー社製のワクチンを特例承認し、本日１７日から約４万人の医療従事者への先行接種をはじめ、国の定めた接種順位に従い、４月以降、市区町村において、高齢者から接種を開始することとしております。

この度のワクチン接種は、かつて経験したことのないような国を挙げた一大プロジェクトであり、市といたしましても、１月１８日に「新型コロナウイルス感染症対策室」を設置し、円滑にワクチン接種が進むよう体制を整えたところでございます。

このワクチン接種は感染症終息への切り札とされており、感染症との戦いは、まさに大きな局面を迎えようとしております。

市といたしましても、何としても、新型コロナウイルスに打ち勝つべく、そして市民の皆様が安心して暮らせる日が一日でも早く訪れるよう、ワクチンの接種体制と感染症対策に万全を期してまいる所存でございます。

それでは、私の令和３年の市政運営に対する所信の一端をここに申し上げ、議員各位をはじめ、広く市民の皆様のご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

まず、国内の社会経済情勢に着目いたしますと、内閣府が先月、公表した月例経済報告では、国内景気の基調判断を「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。」として、各種政策の効果や海外経済の改善に期待する一方で、先行きについては、「内外の感染拡大により下振れリスクの高まりに十分注意する必要があり、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があ

る。」との見方を示しております。

こうした状況の中、印西市におきましては、歳入面では、千葉ニュータウンへの企業の進出等に伴い、固定資産税の増加が見込まれる一方で、引き続き、普通交付税は不交付となる見込みであることから、財政運営に必要な一般財源総額の確保が課題となっております。

また、歳出面では、超高齢社会のもと、福祉ニーズ等の増大に伴う扶助費などの社会保障関連経費の増加や、小･中学校、道路などの公共施設の維持管理費及び老朽化に伴う改修費などの増加が見込まれるとともに、感染症対策などの新たな経費の増加が見込まれており、経常収支比率の増加による財政の硬直化が懸念されております。

こうしたことから、貴重な財源をより一層、効果的・効率的に活用しながら、市民ニーズを的確に捉え、事業の選択と集中が今後も重要になってくると考えているところでございます。

次に、令和３年度の市政運営の基本姿勢について申し上げます。

令和３年度は、ワクチン接種をはじめとした、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題と捉えつつ、新たな総合計画に掲げる将来都市像「住みよさ実感都市　ずっとこのまち　いんざいで」の計画期間内での実現に向け、そのスタートを着実なものとしてまいりたいと考えているところでございます。

そのため、令和３年度当初予算編成に当たりましては、総合計画の前期５年間の計画となる第１次基本計画との整合性を基本として、各事業の実施効果を十分検証するとともに、創意工夫を凝らし、効率的かつ実効性の高い施策の構築に努め、総体的には市民サービスの向上に資するよう、予算を編成いたしました。

一般会計、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計を合わせた令和３年度当初予算の規模は、対前年度比１．５パーセント増の６０７億７千６２３万４千円でございます。

続いて、令和３年度の主な事業につきまして、当初予算の概要に沿って、部ごとに、申し上げます。

初めに、総務部でございますが、６つの主要事業がございます。

その中で、行政改革の一環といたしまして、市民課窓口でのキャッシュレス決済を試験的に導入いたします。

また、防災・減災対策といたしまして、防災行政無線親局の更新を行うとともに、ＳＮＳや多言語に対応した情報伝達機能の多様化を図ります。また災害時の衛生面の向上を図るため、指定避難所にマンホールトイレを設置できるよう設計業務を行います。

次に、企画財政部でございますが、５つの主要事業がございます。

シティプロモーション事業については、引き続き、駅前イルミネーション「イルミライ・印西」や、プロモーション動画の作成など実施いたします。

また、「（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業」として、当該施設を整備する民間事業者の募集や選定などを行う予定でおります。

次に、市民部でございますが、１０の主要事業がございます。

窓口事務については、現在、事務処理の効率化を図るため、国保年金課の国保事務の一部及び中央駅前出張所の窓口業務の一部を委託により行っておりますが、国民年金事務及び後期高齢者医療事務の一部や、市民課の窓口業務の一部についても委託化を図ります。

また印旛支所については、停電災害に備えるため非常用発電機の設置工事を実施し、本埜支所については、老朽化した電気設備や内装等を更新する改修工事を引き続き実施いたします。

次に、環境経済部でございますが、９つの主要事業がございます。

鳥獣被害対策については、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、引き続き、関係機関や地域と連携を図りながら、計画的な捕獲を行います。

また、ごみ減量化・再資源化については、有価物集団回収や生ごみ処理機購入に対す

る補助等を行うとともに、市民の皆様への啓発を実施いたします。

次に、福祉部でございますが、６つの主要事業がございます。

地域福祉づくりの推進として、災害時に要支援者の支援体制を整備するため、「避難行動要支援者情報管理システム」を導入し、名簿や個別計画などの一元管理を図ります。

また、高齢者の生活支援として、引き続き、７０歳以上の方へ、ふれあいバスの無料乗車カードを交付するとともに、新たに、高齢者が補聴器を購入した際の費用を助成する制度を創設いたします。

次に、健康子ども部でございますが、９つの主要事業がございます。

喫緊の課題となっている待機児童の解消を図るため、保育園については、民間保育園３園の改修及び小規模保育事業３施設の開設支援として、事業者に対し補助金を交付し、施設整備を推進するとともに、引き続き、保育士等の確保を図るための補助を実施いたします。

併せて、学童クラブについても、新たに開設する民間の１学童クラブへの施設整備費の補助を実施いたします。

また、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的軽減を図るため、中学３年生までを対象とした「子ども医療費助成事業」及び、高校生等を対象とした「高校生等医療費助成事業」により、医療費や調剤費等の助成を引き続き実施いたします。

次に、都市建設部でございますが、６つの主要事業がございます。

道路や橋梁等については、インフラの機能維持のため、計画的に修繕を実施いたします。

また、新設道路については、駅圏や地区拠点を結ぶ地域間ネットワークの充実を図るため、事業を推進いたします。

次に、教育部でございますが、１２の主要事業がございます。

小・中学校の施設整備については、児童急増への対応として、牧の原小学校の増築工事を行うとともに、施設の老朽化対策といたしまして、原山中学校の改修工事を実施い

たします。

また、施設の老朽化、長寿命化対策といたしまして、複合施設である、ふれあい文化館の大規模改修工事を実施するとともに、本埜公民館については、大規模改修工事に向けた設計業務を実施いたします。

以上、令和３年度の主な事業について申し上げましたが、このほかにも、第１次基本計画に掲げる施策に基づく各種事務事業を確実に実施し、計画期間内での将来都市像の実現に向け、新たな総合計画のスタートを着実なものとしてまいります。

結びに、繰り返しとなりますが、本日からいよいよ、新型コロナウイルス感染症に対応したワクチンの接種が始まります。

一刻も早くこの感染症を終息させ、市民の皆様が安心して暮らせる日が一日でも早く訪れるよう、市といたしましても万全を期してまいります。

そして、あらゆる世代の市民の皆様が、「住んでいてよかった」と思えるまちづくりに、引き続き、市民目線をもって、全力で取り組んでまいる所存でございますので、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を心からお願い申し上げまして、令和３年の施政方針といたします。